

AWAGA/Shikkui-DX



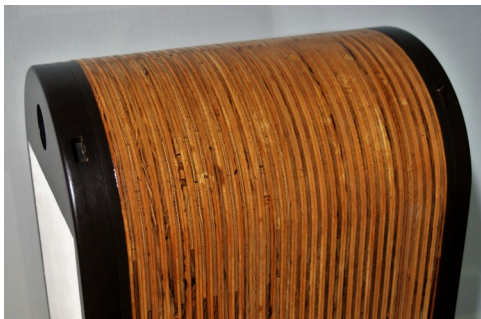
古来より建築で使用されている漆喰(しっくい)を使い、音の良さを実現
 キャビネットは合板の積層面の美しさを活かし、
 ミッドセンチュリーを意識したデザイン
 取付/取り外し自由な脚により、縦置き/横置きのいずれも可能



フロントロードホーンに漆喰を採用

ヨーロッパの教会や公民館には、壁に漆喰を使用しているために音響の良い建物が多く見られます。
 漆喰は、比較的高い周波数(2kHz程度)の音の吸収率が高く、乱反射が柔らかいことに特徴があります。
 AWAGA/Shikkui-DXは、フロントロードホーン材料として漆喰を採用、
 力強い高域、明瞭な音色、従来とは異なる次元の音の透明感を得ることに成功。
 音の分離が良く、各楽器の微妙な音色を描き分け、リアルに再現します。
 ユニットの高性能かつフロントロードホーンに適したフルレンジユニットを選定、
 キャビネットは漆喰のイメージに沿って、曲線を盛り込みレトロ感漂うイメージをデザイン。
 縦置き/横置き、シチュエーションに合った設置で、豊かな音をお楽しみください。

曲面の柔らかさを持つ、
美しい積層面。



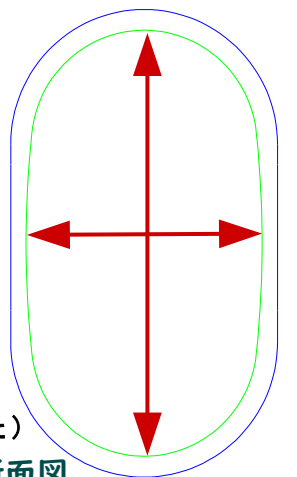
取付/取り外し可能な脚。
置き場所に合わせて
縦置き/横置きを選択出来る

脚の着脱は
工具不要



キャビネット外部(—)は
レーストラック状だが

内部(—)は側面全てが
曲面のみで形成
(平行面はこの2箇所のみ)
⇒定在波が発生しにくい



(正面から見た)
キャビネット断面図

シンプルな内部制振構造

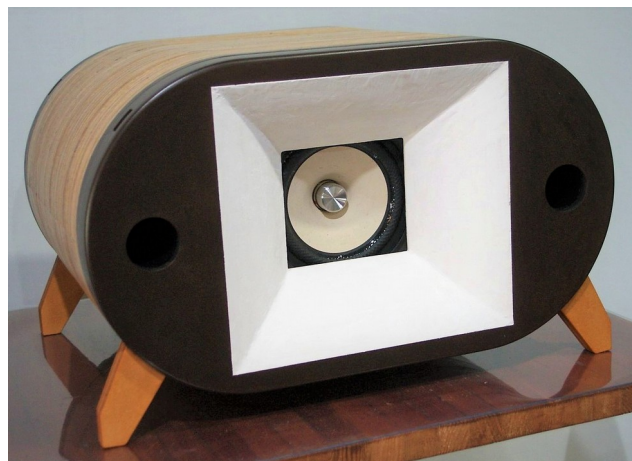
弊社独自の
シンプルな制振構造により
バスレフの共振を抑制、
曲面で構成された
キャビネット形状と相まって、
内部定在波も
立ちにくくなっております。
この構造により
吸音材を最小限とし、
抜けの良い明瞭な低音を
実現しています。



フロントロードホーン。
古民家ライブスペース(弊社運営)
にて知り合ったミュージシャンの
話が、漆喰採用のきっかけとなる

横置きの状態。

漆喰/フロントロードホーンを活かす
レトロ感漂うキャビネットデザイン



手作業による仕上げ

キャビネットの構成部品は
レーザー加工により
正確に切り出されており、
安定した品質を
確保しております。
一方で、仕上げは
手作業で行っており、
レトロな外観に
温かみを加えています。
漆喰は手作業以外では
塗りが困難であり、
ハンドクラフトだからこそ
製作可能なスピーカーです。

「AWAGA/Shikkui-DX」のロゴ入り。
会社所在地(朝来市)の地名
“粟鹿(Awaga)”の名を冠する製品を
基幹シリーズとして展開している



背面はシンプルなスタイル。
定格銘板はアクリル製

それぞれの
楽器・ボーカルが
それぞれ
きれいに分離して
耳に届く
それは限りなく
ライブに近い感覚…



感動の音色を、AWAGA/Shikkui-DXで。